



健やか親子21

母子保健計画の策定と 健やか親子21(第2次)の指標に基づく 問診項目

厚生労働科学研究費補助金 健やか次世代育成総合 研究事業
「母子の健康改善のための母子保健情報利活用に関する研究」

研究班・研修担当(五十音順)

尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学教授)

篠原 亮次 (健康科学大学健康科学部教授)

松浦 賢長 (福岡県立大学看護学部学校保健領域教授)

山縣 然太郎 (山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授)

研究班・事務局

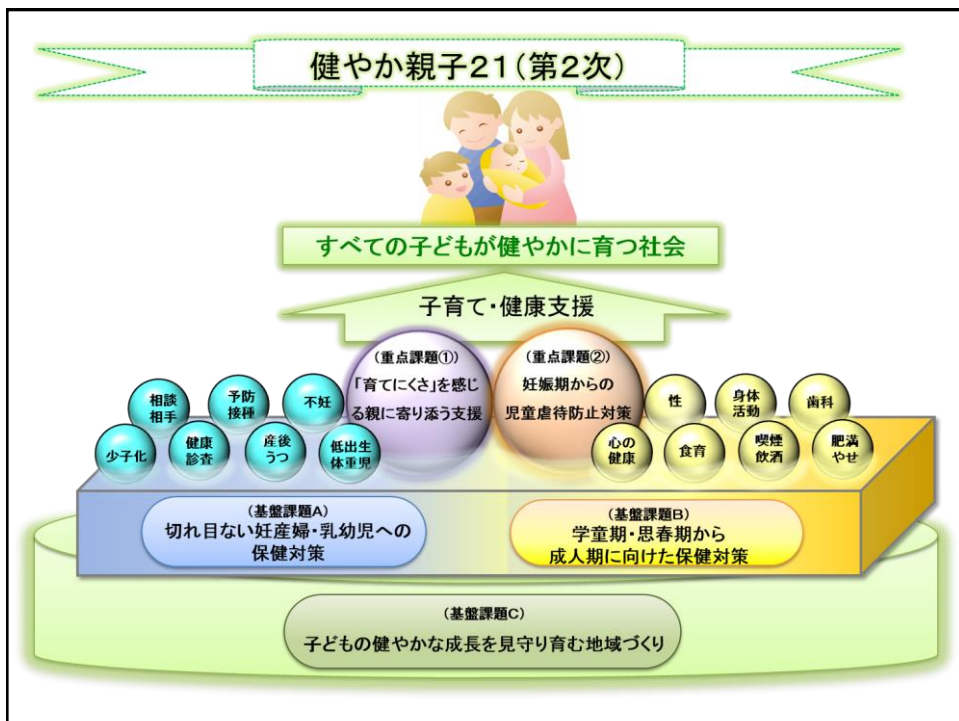
秋山 有佳 (山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座助教)

本時の内容

1. 健やか親子21(第2次)を整理する
2. 必須問診項目を知る
3. 各必須問診項目を深める
4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]

本時の内容

1. 健やか親子21(第2次)を整理する
2. 必須問診項目を知る
3. 各必須問診項目を深める
4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]



健やか親子21(第2次)

1. 理念

すべての子どもが健やかに育つ社会の実現

2. 目的

- (1) 日本全国どこで生まれても、一定の質の母子保健サービスが受けられ生命が守られるという地域間での健康格差の解消
- (2) 疾病や障害、経済状態等の個人や家庭環境の違い、多様性を認識した母子保健サービスの展開

課題の構成

1. 課題分類

- (1) 基盤課題 3つ(A, B, C)
- (2) 重点課題 2つ(①, ②)

2. 各課題の概要

- (1) 基盤課題A…妊娠・出産・育児期の保健対策
- (2) 基盤課題B…学童・思春期・成人期の保健対策
- (3) 基盤課題C…子どもを見守り育む地域づくり
- (4) 重点課題①…育てにくさを感じる親への支援
- (5) 重点課題②…妊娠期からの虐待防止対策

指標の概要

1. 指標の数

- (1) 目標値あり 52指標(再掲2指標含みます)
- (2) 目標値なし 28指標(参考指標といいます)

2. 指標の3段階分類

- (1) 健康水準の指標…行動の結果等のアウトカム
- (2) 健康行動の指標…健康促進・阻害行動等
- (3) 環境整備の指標…関係団体の取組・連携

指標の構成

1. 各課題の指標

- (1) 基盤課題A…16指標＋参考12指標
↳ 健康水準:4, 健康行動7, 環境整備5
- (2) 基盤課題B…11指標＋参考4指標
↳ 健康水準:6, 健康行動3, 環境整備2
- (3) 基盤課題C…8指標＋参考5指標
↳ 健康水準:2, 健康行動3, 環境整備3
- (4) 重点課題①…5指標＋参考5指標
↳ 健康水準:2, 健康行動2, 環境整備1
- (5) 重点課題②…12指標＋参考2指標
↳ 健康水準:2, 健康行動3, 環境整備7

本時の内容

1. 健やか親子21(第2次)を整理する
2. 必須問診項目を知る
3. 各必須問診項目を深める
4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]

必須問診項目

1. 考え方

「健やか親子21(第2次)」では、乳幼児健診の必須問診項目に設定し、毎年度の母子保健調査で状況を把握する指標を定めている。

2. 乳幼児健診で把握する必須問診項目数

計15項目

基盤課題A: 7項目

基盤課題C: 3項目

重点課題①: 3項目

重点課題②: 2項目

必須問診項目

3. 各時点での項目数

- (1) 3～4か月健診… 12項目
- (2) 1歳6か月健診… 10項目
- (3) 3歳児健診 … 7項目

4. 活用時のポイント

- (1) 設問の文言を変えないでください
○お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
×お母さんはゆっくりとお子さんと過ごせる時間がありますか。
- (2) 選択肢の文言・番号は変えないでください
○1. よくやっている 2. 時々やっている 3. ほとんどしない 4. 何ともいえない
×1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ
- (3) 算出方法は指定の方法に沿ってください

本時の内容

- 1. 健やか親子21(第2次)を整理する
- 2. 必須問診項目を知る
- 3. 各必須問診項目を深める
- 4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
- 5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]

【A-3】妊娠・出産について満足している者の割合（3-4か月）

健康水準

産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらとも言えない

- 算出方法 「1. はい」と回答した者の人数／全回答者数×100

• ポイント

- 全体的な満足度は高い
- 「出産体験の振り返り」「産後1か月の指導・ケア」「妊娠中の受動喫煙」は低い

【A-5】妊娠中の妊婦の喫煙率（3-4か月）

健康行動

妊娠中、あなた（お母さん）は喫煙をしていましたか。

1. なし
2. あり（1日 本）

- 算出方法 妊娠中に喫煙がありと回答した者の人数／全回答者数×100

• ポイント

- 子どものいる家庭の喫煙率は約50%
- 妊婦とパートナーは一般集団よりも喫煙率が高い

【A-6】 育児期間中の両親の喫煙率（全て）

健康行動

1) 現在、あなた（お母さん）は喫煙をしていますか。

1. なし 2. あり(1日 本)

2) 現在、お子さんのお父さんは喫煙をしていますか。

1. なし 2. あり(1日 本)

- 算出方法 母親が喫煙ありと回答した者の人数 / 全回答者数 × 100
- 算出方法 父親が喫煙ありと回答した者の人数 / 全回答者数 × 100

• ポイント

- 育児期間中の父親の喫煙率は高く、40%を超える
- 家庭内の喫煙は、子どもの受動喫煙に加えて、将来の子どもの喫煙行動にも影響を与える

【A-7】 妊娠中の妊婦の飲酒率（3-4か月）

健康行動

妊娠中、あなた（お母さん）は飲酒をしていましたか。

1. なし 2. あり

- 算出方法 「2. あり」と回答した者の人数 / 全回答者数 × 100

• ポイント

- 妊娠中の飲酒の影響が知られるようになり、飲酒率は低下している
- 妊娠判明時に飲酒していた人のうち、半数は飲酒を続けている

【A-11】仕上げ磨きをする親の割合（1歳6か月）

健康行動

保護者が、毎日、仕上げ磨きをしていますか。

1. 仕上げ磨きをしている
(子どもが磨いた後、保護者が仕上げ磨きをしている)
2. 子どもが自分で磨かずに、保護者だけで磨いている
3. 子どもだけで磨いている
4. 子どもも保護者も磨いていない

• 算出方法 「1. 仕上げ磨きをしている」と回答した者の人数／全回答者数×100

• ポイント

- う蝕などの予防が主たる目的である
- 口腔に関する保護者の関心が高まったり、スキンシップの時間となったりと副次的な効果もある

【A-参7】出産後1か月時の母乳育児の割合（3-4か月）

参考指標

生後1か月時の栄養法はどうか。

1. 母乳
2. 人工乳
3. 混合

• 算出方法 「1. 母乳」と回答した者の人数／全回答者数×100

• ポイント

- 健やか親子21(第1次)では目標の60%に近づいた
- 地域間格差が指摘されている
- 1.5倍程度の格差が生じている

【A-参10】 1歳6か月までに四種混合・麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合

参考指標

・四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)の予防接種(第1期初回3回)を済ませましたか。

1. はい 2. いいえ

・麻しん・風しんの予防接種を済ませましたか。

1. はい 2. いいえ

・ 算出方法 「1. はい」と回答した者の人数／全回答者数×100

・ ポイント

- 麻しん・風しんは1歳の誕生日以降速やかな接種が必要である
- 四種混合第1期初回は生後3か月からである
- 母子健康手帳にも記載がある
- 問診に盛り込むことで確実な接種につながる

【C-1】 この地域で子育てをしたいと思う者の割合 (全て)

健康水準

この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

・ 算出方法 「1. そう思う」もしくは「2. どちらかといえばそう思う」と回答した者の人数／全回答者数×100

・ 各健診時点について、上記算出方法にて算出し、3時点の平均値を出す

・ ポイント

- 人と人とのつながりが育まれている地域
- ソーシャルキャピタルが充実している地域
- これらの地域はどの世代も暮らしやすい
- 地域肯定感というべきものを表してもいる
- 思春期の子育てまでも想定した結果が出てくる

【C-5】積極的に育児をしている父親の割合（全て）

健康行動

お子さんのお父さんは、育児をしていますか。

1. よくやっている
2. 時々やっている
3. ほとんどしない
4. 何ともいえない

- 算出方法 「1. よくやっている」と回答した者の人数／全回答者数×100
- 各健診時点について、上記算出方法にて算出し、3時点の平均値を出す

• ポイント

- 母親を支える父親の育児「参加」から、母親と同様に育児を行う主体へ
- 母親からみた父親の評価という一面もある

【C-参4】乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合（1歳6か月）

参考指標

浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

1. はい
2. いいえ
3. 該当しない

- 算出方法 「1. はい」と回答した者の数／（全回答者－「該当しない」と回答した者）×100

• ポイント

- 浴室内の溺死・溺水は、残し湯文化のあるわが国の特徴である
- 高齢者対応の浴槽は高さが低く、子どもには危険性が増す
- 家庭内事故防止策としてチェックリストに掲載されている項目
- 他のチェック項目と組み合わせて活用するとよい
- チェックリストの中の代表的な設問として示されている項目

【①-1】 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(全て)

健康水準

お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ

- 算出方法 各健診時点において、「はい」と回答した者の人数／全回答者数×100

• ポイント

- 健やか親子21(第1次)最終評価において、改善が見られない課題が残ったことから引き継がれた項目
- 3-4か月(最終評価):79.7%
- 1歳6か月(最終評価):68.5%
- 3歳(最終評価):60.3%

【①-2】 育てにくさを感じたときに対処できる親の割合(全て)

健康水準

①あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。

1. いつも感じる 2. 時々感じる 3. 感じない



②育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

- 算出方法 設問②で「1. はい」と回答した者の人数／設問①で「1. いつも感じる」または「2. 時々感じる」と回答した者の人数×100
- 各健診時点にて、上記方法にて算出し、3時点の平均値を出す

• ポイント

- 発達障害等の子どもの要因がある
- 親の要因がある
- 親子の関係性に起因する要因がある
- 親子を取り巻く環境要因が複合的に関係する

【①-3】子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合（夫々）

健康行動

生後半年から1歳頃までの多くの子どもは、「親の後追いをする」ことを知っていますか。[3-4m]

1. はい 2. いいえ

1歳半から2歳頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時に指さしで伝えようとする」ことを知っていますか。[1y6m]

1. はい 2. いいえ

3歳から4歳頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか。[3y]

1. はい 2. いいえ

- 算出方法 「1. はい」と回答した者の人数／全回答者数×100
- 各健診時点にて、上記方法にて算出し、3時点の平均値を出す

- ポイント
 - 現在できているかどうかではない
 - 成長の見通しと成長を楽しむ視点
 - イラストも併用

【②-2】子どもを虐待していると思われる親の割合（全て）

健康水準

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. しつけのし過ぎがあった
2. 感情的に叩いた
3. 乳幼児だけを家に残して外出した
4. 長時間食事を与えなかった
5. 感情的な言葉で怒鳴った
6. 子どもの口をふさいだ* (3歳では無し)
7. 子どもを激しく揺さぶった* (3歳では無し)
8. いずれも該当しない* (3歳では、選択肢番号は6番となります)

- それぞれの健診において、「いずれも該当しない」以外の選択肢を1つでも回答した人数／全回答者数×100

- ポイント
 - 虐待予防の支援を行うきっかけとして用いることが可能です

【②-5】乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合(3-4か月) 健康行動

赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っていますか。

1. はい
2. いいえ

• 算出方法 「1. はい」と回答した者の人数/全回答者数×100

• ポイント

- 3.9%発生しているとのデータがある
- 乳児に頭蓋内出血をひき起こした親は「揺さぶり」が原因となることを理解していない
- 問診に取り入れることで、正確に理解する親が増加することが期待できる

本時の内容

1. 健やか親子21(第2次)を整理する
2. 必須問診項目を知る
3. 各必須問診項目を深める
4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]

別添資料の全国自治体調査の調査票と集計結果を用意してください。

問3. 貴自治体の乳幼児健診モデルをそれぞれ
教えてください(あてはまるものに○)。

S1. 3～4か月健診は

・・・ 1. 集団健診 2. 医療機関委託健診

S2. 1歳6か月健診は

・・・ 1. 集団健診 2. 医療機関委託健診

S3. 3歳児健診は

・・・ 1. 集団健診 2. 医療機関委託健診

①それぞれ挙手をお願いします。

②全国調査結果を見てみましょう。何か気づいたことがありますか。

問4. 貴自治体の母子保健計画の状況について
教えてください(1つだけ○)。

1. 他の計画とは独立した母子保健計画を
立てて推進している

2. 母子保健計画に該当する内容の一部を他の
計画に入れ込んでいる

→その計画を教えてください...()計画、()計画

3. 母子保健計画に該当する内容はどの計画
にも入れ込んでいない

①それぞれ挙手をお願いします。

②全国調査結果を見てみましょう。何か気づいたことがありますか。

問5. 必須問診項目(表10.1の15指標)の活用状況について教えてください(○を1つ)。ただし、「取り入れている」とは、設問と選択肢の両方の文言を変えずに取り入れている場合とします。

1. 15指標のすべてを貴自治体での既存の乳幼児健診項目と入れ替えて取り入れている
2. 15指標のすべてを別紙対応にて取り入れている
3. 15指標の一部を取り入れている…()項目を取り入れている
4. 15指標については、その1問も取り入れてはいない

①それぞれ挙手をお願いします。

②全国調査結果を見てみましょう。何か気づいたことがありますか。

全国調査結果から見える課題案

1. 個別(医療機関委託)健診の問診(項目)については誰がどのように対応するのか。
2. 独立した母子保健計画を立てている自治体が少ないのはなぜか。現状でよいか。
3. 必須問診項目導入の課題(障害)は何か。
4. 必須問診項目の集計結果を母子保健計画等に活用するにはどうしたらよいか。

①意見を交わしてみましょう。そして共有しましょう。

本時の内容

1. 健やか親子21(第2次)を整理する
2. 必須問診項目を知る
3. 各必須問診項目を深める
4. 母子保健計画の策定を考える[演習]
5. 必須問診項目の利活用を考える[演習]

必須問診項目の利活用を考える

1. 個別保健指導

15項目それぞれについて、各グループで、下記について話し合ってみてください。

- ・気になる選択肢に○がついていた場合、
 - ①個別保健指導でどのように対応するか
 - ②他のどんな情報を把握(追加質問含)するか
 - ③どのような機関につなげたほうがよいか
 - ④他のどんな問診項目も見てみるか

必須問診項目の利活用を考える

2. 地域の状況把握と母子保健計画指標

15項目それぞれについて、各グループで、下記について話し合ってみてください。

- ①自治体の中でも地域差がありそうか
- ②他の自治体と比較してみたいか・なぜか
- ③他の部局に結果を見せてみたいか・なぜか
- ④他のどんな問診項目と関連があると考えるか
- ⑤母子保健計画等の指標に組み入れたいか